



Press Release
HBC 北海道放送株式会社

※「ガッチャンコ」とは…
「くっつける」「ひとつになる」という意味で使われる言葉。
HBCが、人と人、地域と地域を「つなぐ」存在でありたい
という願いがこめられています。

2020年3月19日

ギャラクシー賞月間賞受賞！ HBC制作ドキュメンタリー 「ヤジと民主主義～警察が排除するもの～」

HBC北海道放送が制作したテレビドキュメンタリー番組「ヤジと民主主義～警察が排除するもの～」が2020年2月度ギャラクシー賞月間賞(主催・放送批評懇談会)を受賞しました。

【番組名】「ヤジと民主主義～警察が排除するもの～」

【放送日時】 2月2日(日)25時20分～25時50分 JNNドキュメンタリー「ザ・フォーカス」
※北海道での放送は2月24日(月・祝)10時50分～11時20分

【内容】

2019年7月15日、札幌での安倍首相の応援演説で、「安倍やめろ」とヤジを飛ばした男性が警察官にその場から排除された。さらに「増税反対」と声を上げた女子大生も同様だった。

その日排除されたのは声を上げた人だけではなく、無言でプラカードを掲げた人もいた。プラカードを掲げられなかった女性はこう語る。「無言でプラカードを掲げるというのは、誰にでもある権利。弱者ができる唯一の一人のできることを奪う国は、民主主義ではない」。

かつて日本では言論の自由が抑圧されていた時代があった。治安維持法によって、思想の自由さえも奪われていたのだ。声に出した中身や無言で掲げるプラカードの内容によって、排除の対象にされてしまう。あの日、札幌では、どこか遠くに感じられていた時代のように、民主主義が大きく制限されていたのではないだろうか。

【講評】 ※放送批評懇談会のプレスリリースから

札幌で安倍首相が選挙の応援演説をした際、「安倍やめろ」とヤジを叫んだ男性や「増税反対」の声をあげた女子大生が北海道警によって排除された問題を、地元局が真摯に取り上げた。冒頭で流れる排除の映像が、番組後半で取り上げられる治安維持法にまっすぐ繋がるようで背筋が冷たくなった。

※ギャラクシー賞

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を表彰するもので、今年で57年の歴史がある。毎年の受賞作は月間賞と各社からの応募作品を合わせて審査を重ねて決定する。

◆お問い合わせ：HBC北海道放送社長室広報部
(TEL：011-232-5821)